

1998・4

水道技術ジャーナル

第 7 号

CONTENTS

巻頭言 財水道技術研究センターの10周年を祝う	浜田 康敬	3
エッセイシリーズ7 うまくない話	坂崎 貞夫	4
エッセイシリーズ8 40年目の再会	宮岡 正	6
設備システムの紹介11 東京湾アクアラインの水系設備について	原田 秀典	8
設備システムの紹介12 大阪市の高度浄水処理 柴島浄水場下系通水	小苗三代治	14
水道QアンドA		19
特別企画 〈歴代専務理事による座談会〉センター10年に想う		21
森下 忠幸・小林 康彦・藤原 正弘		
「高効率浄水技術開発研究」の概要及び最近の動きについて		29
水道技術物語 その4 墨子の“地聴”	石丸 浩	31
センターだより		32
JICAセミナー(マレーシア)に参加して	島崎 肇	34
JICA帰国研修員フォローアップ調査団の旅行記	木下 正明	36
文献抄録委員会が活動を開始		38
水道用膜ろ過装置認定登録一覧表等の一部訂正について		39
発行図書のご案内・編集後記		40

◆表紙写真：千葉県水道局福増浄水場◆

(大規模実験プラント施設)

千葉県営水道では「より安全でおいしい水」を供給するための調査研究を推進していますが、その研究事業の1つとして、福増浄水場に導入の粒状活性炭処理方式(GAC)を生物活性炭処理方式(BAC)に移行するために設置された高度浄水処理実験施設です。千葉県営水道の実験が昨年9月に完了したことにより、当センターに於いて平成9年度からスタートした「高効率浄水技術開発研究」の湖沼・貯水池系の合同実験場として千葉県のご好意により借り受けています。



▲凝集沈でん池



▲砂ろ過槽